

F 解説ポイント

1 退院後のサービス内容(現在;要支援1)

- 廃用フェーズから回復期ケアプラン(サルコペニアに対するリハ、栄養)
 - 回復期リハビリを自宅で行う必要あり
 - ⇒退院時特別指示書で訪問看護STからの訪問
 - 介護保険再申請:見込みでの生活支援(買い物等)
 - 可能なら訪問栄養、主治医から栄養剤処方
 - しばらくしてから通所リハなどの利用

2 感染力が無いとはいえ、スタンダードプリコーション(双方マスク、換気、近くでケアするときはフェイスシールド)を徹底する

3 感染力の無い人を積極的に地域でうける⇒病院を支援すること

- 転院や施設のほうがハードルが高く、在宅でうけなくてはいけない。
今後コロナによる入院で廃用がすすんだり、併存症のコントロールが十分でないまま、退院する人を在宅で積極的に受ける必要が出てくる
- 躊躇したり、家族に反対されたりするスタッフも少なくない
⇒普段の教育や研修を通じ、知識を深め自信をつけておくことが重要